

修業年限短縮申請書(院生用)

平成 年 月 日提出

ふりがな 申請者氏名	〇〇 領域 〇〇 教育研究分野 年 (〇〇年度入学) 〇〇〇 〇〇〇〇 ⑩		
生年月日	年 月 日生	性 別	男 ・ 女
現 住 所	〒		
指導教員	指導教授〔所属： 〕氏名		⑩
	指導教員〔所属： 〕氏名		⑩
	指導教員〔所属： 〕氏名		⑩
	指導教員〔所属： 〕氏名		⑩
論文題目 (英文の場合は和訳を付すこと。)	2013 年 2 巻 244～248 頁に掲載の場合		
共著者名			
掲載誌名 始→終 掲載(発行)年；巻：頁 〇－〇	例 1) 2013 ; 2 : 244－8 掲載 例 2) 掲載予定		

掲載年等は未定だが掲載することは決定している場合

- 注 1. 掲載された論文の別刷（掲載が決定された論文の場合は、受理証明書又は掲載証明書）を添付すること。
- 注 2. 学位請求論文の内容の要旨（医共様式 1）を添付すること。
- 注 3. 学位申請にかかわる論文の同意書〔共著者全員分を別葉で〕（医共様式 2）を添付すること。
- 注 4. 証明書〔指導教授が証明〕（医共様式 3）を添付すること。

修業年限短縮申請書(指導教授用)

平成 年 月 日提出

講座名：_____

指導教授氏名：_____ 印

下記の者は優れた研究業績を上げたものと認めますので修業年限の短縮を申請します。

ふりがな 申請者氏名 入学年度・年次	平成 年度入学 年	専攻	〇〇〇領域 〇〇〇教育研究分野
--------------------------	-----------	----	--------------------

1. 学位論文の根幹をなす論文

論文題目 (英文の場合は和訳)	2013 年 2 巻 244～248 頁に掲載の場合
著 者 名	
雑 誌 名	
掲載(発行)年； 始→終 巻：頁〇－〇	例1) 2013；2：244－8 掲載 例2) 掲載予定

2. 優れた研究業績を上げたと認める理由

掲載年等は未定だが掲載することは決定している場合

※ 理由が複数ページにわたる場合は、欄外下中央にページ番号を付すること。(例2／1)

論文目録

学位論文

氏名 甲 野 太 郎 印

英文の場合は、()内に和訳を付記

題 名 The measurement of total～
(心拍数法による～)

①論文が未公表の場合

例) 弘前医学に平成25年12月に受理され、
A:掲載時期が26年中に6巻に掲載予定の場合

例①公表方法
及び公表年月

弘前医学に受理(平成25年12月)
Aの場合→2014;6巻掲載予定
Bの場合→掲載予定だが時期未定

例②公表方法
及び公表年月

弘前医学 2013.4;6:244-8.

②論文が公表済みの場合

例) 弘前医学に平成25年4月、6巻244～248頁に掲載公表済

参 考 論 文 3 部(申請者が著者として参画している論文を2部以上)

例1(著者が1名の場合)

甲野太郎. 遅発性てんかんと老年期てんかん患者～.
弘前医学 2011.5;8:189-95.

例2(著者が2名の場合)

甲野太郎、青森次郎. 遅発性てんかんと老年期てんかん患者～.
弘前医学 2011.5;8:189-95.

例3(英文で著者4名以上の場合)

Kohno T, Aomori J, Tugaru H et al. The effect of
pupllary～～～.
Hirosaki Med J 2011.5;8:189-95.

1 論文題名が英文の場合は、()内に和訳を付記。

2 論文が未公表の場合は、受理年月と予定の内容を記載。

3 論文が公表済みの場合は、刊行物名、公表年月、巻、ページを記載。

4 参考論文は、申請者が著者として参画している論文を2部以上(原著論文、臨床研究、症例報告及び総説(文科省、厚労省の報告書、学会抄録は認めない)を列記。その際、著者が複数の場合は3人まで列記し、4人目に et al とする。また、申請者名に下線を引くこと。

※ 論文目録作成後は、最後に枠外の注意文を削除して完成させること。

履 歴 書 (甲)

本 籍 青森県(県名のみ記入)
現住所 青森県弘前市在府町 5 番

性 別 男 氏 名 こうの たろう(ふりがなを記入)
甲 野 太 郎
昭和 年 月 日 生

学 歴
平成 年 月 青森県立弘前高等学校 卒業
平成 年 月 弘前大学医学部 入学
平成 年 月 同上 卒業
平成 年 月 第〇〇回医師国家試験合格
平成 年 月 第〇〇号をもって医籍登録
平成 年 月 弘前大学大学院医学研究科医科学専攻 入学
平成 年 月 同上 修了見込み

職 歴
平成 年 月 弘前大学医学部附属病院〇〇科医員（研修医）に採用
平成 年 月 同上辞職
平成 年 月 〇〇病院に採用
～ ～

現在に至る

研 究 歴
平成 年 月 弘前大学大学院医学研究科医科学専攻入学
〇〇〇〇教授の指導により「 」を
研究主題として研究に従事。
現在に至る

平成 年 月 日 氏 名 甲 野 太 郎 (印)

※ 職歴(勤務先)、研究歴(研究機関等)は正式名称で記入のこと。
※ 職歴、研究歴の最後に必ず「現在に至る」と記載すること。
※履歴書を作成後は、最後に枠外の注意文を削除して完成させること。

平成 年 月 日

機関リポジトリ登録許諾書

弘前大学附属図書館長 殿

①所 属： _____ ○○○学講座
 フリガナ
 氏 名： _____ (自署)

②連絡先
 住 所： 〒○○○-○○○○
 弘前市~~在府~~町 1 番地 ○○-○○
 TEL : 0172-39-5111 (携帯 090-○○○-~~)
 E-mail : ○○○@~~

③学位取得後の連絡先 (②と同じ場合又は未定の場合は記入不要)
 住 所 〒○○○-○○○○
 弘前市~~文京~~町 1 番地 ○○-○○
 TEL : 0172-32-2111 (携帯 090-○○○-~~)
 E-mail : ○○○@~~

私が執筆した下記の博士論文（全文）について、弘前大学学術情報リポジトリを通じてインターネット上に無償公開することを許諾します。

記

論文題目 ※英文の場合は (和訳)を付記。	
学位授与年月日 * 事務記入欄	平成 年 月 日

2013 年 2 巻 244～248 頁に掲載の場合

学術誌への掲載（予定）の場合	(1)学術誌名	弘前医学	I S S N : 例)04391721
	(2)掲載(発行)年 ; 巻 : 頁 ○—○ 始→終	例 1) 2013 ; 2 : 244 - 8 掲載 例 2) 掲載予定	
	(3)出版社名	弘前医学会	
	(4)掲載日(予定)	平成 年 月 日 (予定)	
	(4)公表の可否	☒ 可 公表するための条件 (1)内容について ☒ A : 出版社版の利用のみ可能 ☐ B : 著者最終原稿版のみ可能 ☐ C : 出版社版・著者最終原稿版どちらも可能 (2)公表可能となる経過年月 学術誌等掲載後 <u>1</u> 年 <u>6</u> 月経過 (3)その他の条件 (※1) 例 出典表示のこと ←←← 公表できる条件 例 著作権使用料負担 ←←← 公表不可と判断 ☐ 否 → (論文の要約を公表する)	

掲載年等は未定だが掲載することは決定している場合

・該当する口をチェックし、確認事項にご記入下さい。

※1 公表条件が厳しく対応が困難な場合は、公表不可に準ずると判断し「論文の要約」を公表する。

※ 公表条件チェック表（リポ共様式2）とは整合すること。

<注意事項>

国際標準逐次刊行物番号を記入（8桁）

1. ~~~~~
2. ~~~~~
3. ~~~~~
4. ~~~~~

履 歴 書 (乙)

本 籍 青森県(県名のみ記入)
 現住所 青森県弘前市在府町 5 番

おつの たろう(ふりがなを記入)
 性 別 男 氏 名 乙 野 太 郎
 昭和 年 月 日 生

学 歴

昭和	年	月	青森県立弘前高等学校	卒業
昭和	年	月	弘前大学医学部	入学
昭和	年	月	同 上	卒業
昭和	年	月	第〇〇回医師国家試験合格	
昭和	年	月	第〇〇号をもって医籍登録	

職 歴

平成	年	月	弘前大学医学部附属病院〇〇科医員(研修医)に採用
平成	年	月	同上辞職
平成	年	月	〇〇病院に採用
平成	年	月	同上辞職
～	～	～	

現在に至る

研 究 歴

平成	年	月	弘前大学大学院医学研究科〇〇〇〇〇講座へ研究生として入学
			現在に至る

平成 年 月 日

氏 名 乙 野 太 郎

印

- ※ 職歴(勤務先), 研究歴(研究機関等)は正式名称で記入のこと。
- ※ 職歴, 研究歴の最後に必ず「現在に至る」と記載すること。
- ※履歴書を作成後は, 最後に枠外の注意文を削除して完成させること。

学位論文表紙参考

[illegible][illegible]

申請者 弘前大学大学院医学研究科
〇〇領域〇〇教育研究分野

氏 名 ○ ○ ○ ○

指導教授 ○ ○ ○ ○

試験の結果の要旨（甲）

申請者領域・分野	氏名	〇〇領域〇〇〇〇〇教育研究分野	氏名	〇〇〇〇
指導教授氏名	〇 〇 〇 〇			
試験担当者	主査　〇 〇 〇 〇			
	副査　〇 〇 〇 〇		副査　〇 〇 〇 〇	
(試験の結果の要旨)				
１．学位論文に関しては、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇について試問したが，解答は適切であった。 評　　　語 A				
２．関連学科に関しては、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇について試問したが，知識は正確であった。 評　　　語 A				

